

Hさん（身体障害・復職（短期間の支援））

①復職に向けたスケジュール・必要な課題を整理しよう（就労支援課：職業相談）

脳出血を起こし、軽度の失語症の診断を受けたHさん。復職したいと思い職業相談にいらした時には休職期限は1か月後に迫っていました。相談の結果、限られた時間を効率的に使って、復職に向けた準備をすることとなりました。

②自分の働く力を知ろう（就労支援課：職能評価）

職能評価を行い、後遺症の影響や自分にできる仕事を確認しました。周囲の配慮があれば、会社から提案されている簡単な事務作業ができそうだという結果が出ました。

③作業を体験しよう（就労支援課：短期間の実習）

就労支援課で1週間の実習（事務作業）を行い、体を慣らしました。体験したことにより、Hさんの不安は軽減され、復職後の働き方について見通しが持てました。

④安定して働き続けよう（就労支援課：職業相談）

急激な負荷を避けるため、短時間の勤務から復職できることになりました。復職後も、定期的に職業相談を行い、勤務時間や職務内容の拡大のタイミング、必要な配慮、自分で気を付ける事について、その都度整理しています。